

印刷工諸君に訴ふ！

「國民」の兄弟を見殺しにするな

國民新聞總罷業

國民新聞社は職工を虐使することに於て有名である。經費節減を名として病氣缺勤者まで定期的に減首して來たが、今度新聞紙面の段數を十三段とするに及び、更に七月廿五日減首者を出さんと左の如きバカ／＼しき理由で挑戦して來た、即ち「割返し」を掠奪する外、四時間一回二十錢の深夜業賃銀を一回に値下げ、其他二三の賃銀値下げを言渡した。こゝに於て文選課全員は奮然立つて此の横暴無茶の會社側の要求を一蹴し、逆に従業員から經費節約を理由とする一切の申出に反對し、夜業勞賃値上げ、養成工定期的値上制度の確立、十三段及び拾ひ組みによる當然の賃銀値上げ、犠牲者反對等の要求を突付けた。然るに廿六日正午に至り右の要求に對し殆んど誠意なき回答を爲したるのみならず、それに先だつて廿日速達を以て四名の減首を通知して來た。こゝに於て廿六日文選従業員は決然としてこれに反對し全く總罷業を決定して反對を聲明した。

全印刷工諸君！

われらはいかうした新聞資本家の惡辣極まる挑戦にはあくまで抗争し、死を決してこの暴戾と戦ふことを誓ふ！

同工諸君の熱誠ある應援を切望する！

一九二九、七

國民新聞爭議團

京橋區木挽町二ノ十

全國印刷工聯合會

應援 東京印刷工組合